

新

年明けましておめでとうございます。旧年中は、新型コロナウイルス感染症の影響の中、多くの市民の皆さまからご理解とご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。本年の干支である「丑」は、「これから発展する良いことの前触れ、芽吹き」の年であると言われる。コロナ禍が収束し平穏な日常が戻ることを期待しております。

さて、昨年を振り返り思うことは、やはり新型コロナウイルス感染症が私たちの生活様式を一変させたことです。コロナ禍の中、市では現状を的確に把握、事業実施による効果の循環、そして時期を逸することのない「適時適策」を主眼として対策を打ち出して参りました。今後もこの姿勢をもって取り組んで参ります。

一方、明るい話題もたくさんありました。例えば、TDK硬式野球部の7年ぶりの東京ドーム出場や、ブラウブリッツ秋田のJ3優勝とJ2昇格などは、私たちを勇気づけてくれるものでした。

また、私の公約による施策の効果として、㈱宝島社が公表した「住みたい田舎ベストランキング」の東北エリアにおいて、総合部門で第4位、「若者世代が住みたい」、「子育て世代が住みたい」の両部門で第3位になるなど、子育て支援を軸に学習

新

年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにはご壮健にて穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、年明け早々、新型コロナウイルス感染症が流行し、「コロナで始まり」「コロナで終わった」1年でありました。今もって世界中が不安な日常を過ごさざるを得ない状況に陥り、にかほ市におきまして、経済活動はもとより観光をはじめ地域振興にも大きな影響を与え、長期化の様相を見せています。

にかほ市議会としても、いち早く新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、感染症対策方針を策定しています。これに基づき、行政視察や議会報告会等のワークショップを取り止め、議場内の消毒・換気の徹底、議席間隔の確保を図るなど、前例のない事態に対応しながら取り組んで参りました。そして、市民の健康と生活を守るため、苦しんでいる事業者や困窮者への支援、子どもたちへのケア等に係る『新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書』を市長に提出しております。

また、コロナ対策とは別に、昨年は市政の課題について調査研究を行うにかほ市議会政策検討会議を設置し、政策・施策に関する提案書も3月に提出しております。今後もワー



にかほ市長 市川 雄次

内容の充実や教育支援、また市の特徴を生かした働く世代や移住者に対する応援などの取り組みにより、にかほ市が安心して暮らせるまちとして内外に評価されたものと感じております。さらには、建設中の多目的屋内運動場は今年度中に完成する見込みで、一層の健康づくりの場として多くの方々からのご利用を期待しております。

今年は私が市長に就任して4年目を迎えます。これまでも公約の実現に向けて邁進して参りましたが、この「芽吹き」の年にあたり、蕾からたくさんの花を咲かせたいと思っております。今後も皆さまからの信頼にお応えし、未来のにかほ市に夢をもち、次の世代に誇りをもって引き継ぐことが出来るまちづくりを目指して参りますので、引き続き皆さまからのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が平穏で幸多き1年となることを心からお祈りし、新春のご挨拶といたします。

クシヨップのほか、さまざまな手段を通して市民の皆さまの声を傾け、市の課題とその解決策についてご意見をいただき、市勢発展に尽くして参りたいと考えております。

さて、昨年はコロナ禍で暗い話題が多かった一方で、明るい話題もありました。都市対抗野球大会で、TDK硬式野球部が7年ぶり15回目の東京ドームへ出場、当市がマザータウンのブラウブリッツ秋田の念願のJ2昇格などがあり、我々市民が元気づけられました。皆さまにとってはどうな1年でしたでしょうか。

今年は丑年です。丑年は先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言われております。にかほ市議会としても本年の干支に因み、黙々と目の前の仕事をこなし結果に繋がる道を築き、将来の成功に繋げる1年であると捉えております。市民の皆さまから信頼され、市政に対する監視、評価、政策提言に係る機能を十分に発揮し、議員一丸となって期待に応えられるよう、誠心誠意尽力して参ります。



にかほ市議会議長 佐藤 元

謹賀新年